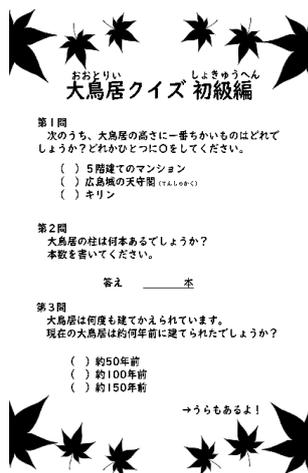


令和2年度 宮島歴史民俗資料館との連携事業

- 期間：令和2年10月6日～12月13日
- 会場：宮島歴史民俗資料館
- テーマ：「宮島の大鳥居～令和の保存修理～」



廿日市市宮島歴史民俗資料館が実施した企画展「宮島の大鳥居～令和の保存修理～」では、本学の学生による特別企画として「大鳥居クイズ」を実施しました。

このクイズは「宮島学」や「博物館展示論」の授業で宮島について学んだ学生5名（綾目桃子さん、常久真司さん、時枝真暉さん、平井咲江さん、古山安優さん、いずれも国際文化学科3年生）が「子どもたちの想像が広がるような問題をつくる」ことを目標に作成しました。

作成した初級・中級・上級の3種類のクイズを企画展の展示室にて来場者に配布しました。クイズに回答してくださった方には先着160名に学生が開発した紙細工や大鳥居パンフレットを差し上げました。

期間中、197名の方にクイズに挑戦していただきました。中には、クイズを楽しみに、展示初日に駆けつけてくださった方もいらっしゃいました。東京都渋谷区にお住いの小学校の先生は、このクイズや紙細工を学校に持ち帰り、平安時代を取り上げた単元で活用していただいたそうです。

この活動は、中国新聞（令和2年10月24日）、読売新聞（令和2年10月24日）、毎日新聞（令和2年11月28日）で紹介されました。



展示の様子